

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
医学概論 (人体の構造と機能及び疾病)		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宇賀 美奈子	B302	m.uga	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉生物としての視点から人体の構造と仕組みを知り、健康・疾病のとりえ方や様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策について理解する。</p> <p>〈概要〉人の身体構造と心身機能、健康・疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ち及び回復過程、公衆衛生について、各回のテーマを決めて解説する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	科目で取り扱う内容が広いので、授業内で取り上げたテーマをもとに興味を持ったり、疑問に感じたりしたところを、自ら調べて理解する方法を身に付けてもらいたい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 1 医学概論/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて適宜紹介する。				
外部教材	必要に応じて適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人の身体構造と心身機能について理解し、説明することができる。	HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)			
②	健康・疾病の捉え方について理解し、説明することができる。	HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)			
③	疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解し、説明することができる。	HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)			
④	公衆衛生について理解し、説明することができる。	HSU(1)、(2)、(3)、HC(3)、(5)			
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 健康と疾病のとりえ方を学ぶ	講義	2		
2	健康のとりえかたと国際生活機能分類、疾病の要因の全体像について学ぶ	講義	4.5		
3	人体の構造と機能の全体像を学ぶ	講義	4.5		
4	人体を構成する要素について学ぶ	講義	4.5		
5	運動系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4.5		
6	神経系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
7	感覚系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
8	循環系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
9	呼吸系・排泄系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
10	消化系・内分泌系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
11	免疫系の構造と機能および疾病・障害について学ぶ	講義	4		
12	成長と老化それに関連する疾病・障害について学ぶ (1)	講義	4		
13	成長と老化それに関連する疾病・障害について学ぶ (2)	講義	4		
14	疾病の予防・治療・リハビリテーションについて学ぶ	講義	4		
15	公衆衛生について学ぶ まとめ	講義	4		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

講義時にて提示した課題に基づいて予習・復習を行う

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		55	0	0	0	45	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	20	50
	思考・推論・創造する力	25	0	0	0	25	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で取り扱った内容に則した筆記試験を行う。				試験結果の返却とともに、正解と解答例を提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業中もしくは時間外学習として課題を課す。課題の提出及び課題の得点を評価の対象とする。評価基準は課題ごとに提示する。				翌週の講義で解説もしくは Teams で正解の提示を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。</li> <li>問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。</li> <li>本講義は対面授業だが、連絡・課題提出等に Teams を利用する。</li> </ul>						